

第三者意見



東京工業大学 大学院 教授
中崎 清彦 先生

本環境社会報告書には、カワイグループの事業活動にともなう環境報告、社会性報告が適正にまとめられている。

本報告書からカワイグループが企業としての価値を高めるために実に様々な視点からの取り組みをおこなっていることがわかる。商品開発については、ピアノという製品の性質上、新製品が次から次へと出てくるものではないと思われるが、2014年度には「Kシリーズ」や「ANYTIME」で新製品を発売している。また、デジタルピアノ「CNシリーズ」が米国の栄えある賞を受賞したことが紹介されており、技術力に高い評価を得ていることがわかる。環境配慮については、多様な環境指標を解析し、植林も継続的におこなって環境にやさしい企業活動であろうとする努力が伝わるものとなっている。また、社会性にかかわる報告については、社内の体制と内部統制が適正に整備され、株主、投資家のみならず、顧客、地域とのかわりにいたるまで配慮が行き届いている様子が見て取れる。自らが理念としている好感度企業を実現するための地道な取り組みがなされていることがうかがえる。なお、顧客との関係の中で文化貢献活動、教育事業、健康づくりシステム、スポーツコミュニティは深謀遠慮の取り組みと思う。コンサートを聴いて音楽を始めたくなった、健康づくりシステムがよくなったからミュージックスクールも、自分の子供も同じ音楽教室を、のように、カワイの提供するサービスを使用したいと思う新たな顧客の掘り起こしにも有効な方法と思われる。

その他の個々の優れた点については、中期計画の達成度評価とこれからの方針がWEB上で公開されており、紙媒体で概説したことが電子媒体でより詳細に述べられていること、女性調律師や管理職登用など、男女共同参画の考えに即した、女性にとってもより魅力的な職場として成長してきていること、さらに、震災復興のためのチャリティーコンサートを継続するとともに、カワイの森育成会が林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参画し、継続的な震災対応の一翼を担っていることがあげられる。企業が収益を上げる過程で、周りの皆が様々なかたちの満足を得るために、企業としての価値を高める、今後一層の取り組みを期待したい。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生から第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、事業活動にともなう環境負荷低減のためのエネルギー使用量や産業廃棄物排出量の削減活動とともに、環境に配慮した製品開発の取り組みを取り上げていただきましたことは、今後のモノづくりの方向性が確認できたものと思います。一方、社会的側面における社内の体制整備と人々の健康や文化に貢献する活動、また男女共同参画の視点からの人材育成の継続的な取り組みについてご高評をいただきましたことは、今後の継続的取り組みを考える上で大いに励みになるお言葉として受け止めております。

今後も事業活動における地球環境の保全活動、文化貢献活動を通じて「カワイブランド」の価値の向上と持続可能な社会の実現に寄与できるよう継続的にPDCAサイクル（Plan・Do・Check・Action）を廻していくことが重要な課題と捉えて、CSR活動を推進してまいります。

今後もカワイグループの取り組みについて、皆様へ分かりやすい情報の開示に努めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)